

学校関係者評価報告(令和2年度)

令和3年度の学校評価委員会を開催し、「令和2年度 青山建築デザイン・医療事務専門学校の自己点検・自己評価」をもとに、学校関係者による評価を以下の通り実施した。

学校関係者評価委員会開催日：令和3年7月17日(土)

学校関係者評価委員：

1. 井野 雄介 医療法人社団親寿会 池永クリニック事務長
2. 井上 勝己 (株)北海道日建設設計 理事 設計技術室長
3. 本間 純子 (有)アリエルプラン・インテリア設計室 取締役
4. 齊藤 香代 医療事務学科2年 保護者
5. 八鍬 昌利 (株)T&N北海道設計事務所 建築学科・建築研究科 卒業

青山建築デザイン・医療事務専門学校

斎藤校長、林副校長、高林総務部長、大野教務部長、
加藤広報部長、武川教務課長、矢野教務課長

令和2年度 自己点検・自己評価・学校関係者評価

青山建築デザイン・医療事務専門学校

(1) 教育理念・目標	自己点検・評価
1)学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか) 本校は、学校教育法第124条及び125条に基づく専修学校として、本校設置課程の工業分野では、建築の設計・製図・デザイン・CAD、商業実務分野では、医療事務・診療情報管理の専門知識・技術を習得させ、自主的精神に充ちた学生の育成を目的とする。	【点検評価】 教育方針・教育目標に添って、専門教育の充実・生活指導・資格取得に対する指導・就職指導を行っている。理念、目標は教職員に周知している
2)教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか 経営方針は毎年、校長が作成し、その中で教育理念と教育目標等は理事評議員会に報告され、4月の新年度連絡会にて教職員に徹底されている。	【点検評価】 令和2年度の経営方針は新型コロナウイルス感染症拡大のため新年度連絡会が中止となり、文書の配布とした。具体的な方法や成果については9月18日実施の教務部会にて意見交換を行った。
【委員会の意見等】 委員：学校の理念である建築の「設計・製図・デザイン・CADの習得」は、現在の実務と適合しているのか？ 学校：改めて検討する。	

(2) 学校運営	自己点検・評価
1)学校の年間スケジュールはあるか 毎年、年間行事予定表を作成し、次年度スケジュールを3月に決定している。 次年度の年間行事予定表を教務で打合せ検討し作成し、校務運営会議に提案して調整し校長の承認を受けている。 学生には毎年作成する学生便覧にのせ周知させている。	【点検評価】 令和2年度は「緊急事態宣言」が発令され、北海道より休業要請があり4月13日(月)～5月31日(日)まで臨時休校となり、年間行事予定表も見直し変更となる。
2)事業計画を作成し、それに伴う予算も組んでいるか 毎年2月末までに各部において次年度の事業計画(案)を作成し、それに基づいて次年度予算(案)を組み、3月の定例理事評議員会に諮っている。	【点検評価】 令和3年度事業計画(案)、令和3年度収支予算(案)はいずれも3月15日開催の理事評議員会にて承認される。

<p>3)寄附行為、理事会会議規則(法人)、学校の運営規則等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議が開催されているか</p> <p>改正私立学校法の施行(令和2年4月1日)にともない寄附行為の変更が必要な為。令和2年3月5日に改定し、令和2年4月1日から施行された。これに基づき定例理事評議員会(5月と3月)及び臨時理事評議員会を開催している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和2年度は第1回定例理事会評議員会を新型コロナウイルス感染症の拡大により6月19日、第2回定例理事会評議員会を3月15日にそれぞれ開催した。 第1回では令和元年度の事業報告、令和元年度の収支決算報告、役員の改選が承認された。 第2回では令和3年度事業計画(案)、令和3年度収支予算(案)が承認された。また、臨時理事会を11月16日に開催し、学則変更(カリキュラム変更)が承認された。</p>
<p>4)教職員の健康診断がされているか</p> <p>毎年4月から5月までの間で教職員の健康診断を実施し、再検査等の対象者は各自医療機関で受診している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により6月に日本健康俱乐部及び人間ドック検査病院で実施した。</p>
<p>5)[職業実践専門課程]専門分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか</p> <p>教員は「教員研修規程」に基づき自らの専門分野について、日進月歩する学術・技術について年度毎研修し、これを授業に反映させるとともに、学生の特性が時と共に変化することを念頭に入れ、学生の指導方法等について年度毎研修し、最良の指導を目指すこととする。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>専門分野では建築系は2月8日に(有)TAO建築設計 代表取締役 川村弥恵子様を招いて設計のプロセスの研修。医療事務系では8月オンラインにて「医療秘書の働きがいと接遇教育」「DPC/PDPSの概要とその指導法」「医療情報システムの指導法と必要性について」を受講した。指導力の習得・向上のための研修は8月3日に(株)心理カウンセリング・ココ 代表取締役 東一恵先生を招いて「学生への対応を考える」～メンタル不調に関する疾患とその対応～を研修テーマとして受講した。</p>
<p>6)教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を実施しているか</p> <p>各教科担当教員と担任が進度計画表を通して授業計画の内容を確認し、教務部に報告相談し問題を訂正している。その他定期的な情報交換は、4月の新年度連絡会や9月の教務部会を設けている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルスの為に新年度連絡会が開催できなかつたが、9月18日(金)の教務部会は開催した。</p>

【委員会の意見等】

- 委員：職員の健康診断は実施するのみか？その後のフォローは出来ているのか？
- 学校：健康診断の結果、「所見あり」と出た人には健診結果と一緒に医療機関への「再・精密検査受診のすすめ」と「診療情報提供書・診療結果報告書」が返信封筒と一緒に同封されている。受診した職員は、結果が健康俱楽部を通して学校に届くため、その後の経過が把握できる。
- 委員：建築系の教員研修は具体的にどのような内容か？
- 学校：アトリエ系の事務所で、作品紹介が中心であった。
- 委員：卒業生の就職先から来てもらい、現在ではどのような状況かを話してもらうのも良いのではないか。
- 委員：業界は目まぐるしく変わっていますが、常識も変わってきているため、常時情報交換が大事である。実務的な情報交換を積極的に行って欲しい。
- 学校：非常勤講師とも積極的に情報交換をし今後検討していきたい。

(3) 教育活動	自己点検・評価
1) 講義および実習に関するシラバスは作成されているか	<p>【点検評価】</p> <p>毎年3月末までに各担当教員がシラバスを作成し教務部にデータで提出し、検討確認後ホームページにて公開している。</p>
2) 企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか	<p>【点検評価】</p> <p>建築系学科は設計授業において、企業からの講師を招き、課題の作成、実際の現場での図面表現、構造・設備におけるアドバイスを受けている。想定された敷地にコンセプトを基に建築物として完成させ、施主にプレゼンテーションが出来ることを目標とし、実践的な能力を育成している。医療事務系学科は2年の5月中旬から6月末までの間の4週間の期間内に病院実習を行い、装い・言動等には留意し、実習先の規則・指示等を遵守し実戦での体験を踏まえて知識の向上を図っている。</p>
3) 資格・免許取得のための指導体制はあるか。	<p>【点検評価】</p> <p>各種資格取得に必要な学習を授業に組み入れてあるが、資格試験の学習が授業で行われない学科では、金曜日の午後の「自主研修」の時間に行っている。又、卒業してから入学する建築研究科では国家資格である二級建築士を目指し授業を進めている。3年目の診療情報管理士専攻科では毎年2月受験の診療情報管理士を目指している。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>委員：HPに記載されているシラバスが見辛いため、もう少し見やすく出来ないか。</p> <p>学校：現在、HPを全面的に改装しており、シラバスも現在よりは見やすくなっている。</p> <p>委員：学生時代、クラスの数人のみがプレゼンを行えたが全員にはなかった。クラス内でなくとも構わないが教員数名の前で全員がプレゼンできる場を設けたらどうか。(卒業生)</p> <p>学校：担当教員によっては授業内で実施しているが、今後は、学校として取り組んでいきたい。</p>	

(4) 学習成果・教育成果	自己点検・評価
<p>1)就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善をはかっているか)</p> <p>就職活動において個人面談を中心に個々の適性を重視し適切なアドバイスを行い、企業とのミスマッチを無くし、適所に就職させるべく指導を行っている。 学校内の体制は、「就職課」を設け企業からの求人受付、求人開拓を行い、「学生に対する情報提供」「応募書類の指導」「面接の練習」等を実施している。 「面接試験」の重要性という観点から、学生個人に対し就職試験前に模擬面接の指導も行っている。授業として「就職支援講座」を取り入れ、自己分析、履歴書の書き方、面接での準備とマナー等、就職活動に役立てるよう配慮している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和2年度の卒業生の就職率(卒業時)は、2年課程の建築系学科は98.0%、医療事務学科は100%だった。学生本人の適性等もあるが、今後も学生の就職に対する意識や意欲が高まる指導を継続したい。</p>
<p>2)学生の就職活動に関する記録がなされているか</p> <p>就職課では、各種報告書類を作成し担任を通して学生に報告させ、記録を保管している。 書式は ①会社訪問・説明会 就職ガイダンス・セミナー報告書 ②就職活動連絡票(学校求人用) ③就職試験報告書 ④内定報告書 ⑤インターンシップ内定者研修報告書 などがある。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>各種報告書を提出させることにより、各学生の就活状況の把握となり次年度の学生の参考資料にもなっている。</p>
<p>3)卒業年度だけでなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握しているか</p> <p>卒業生の就業状況の調査は就職先変更の場合、連絡をもらうように告知しているが、機能していない。求人票を頂いている企業からの卒業生の情報での確認となっている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>今後、卒業生の就職先をどのように確認するべきか検討中である。</p>
<p>【委員会の意見等】 委員:特に問題なし</p>	

(5) 学生支援	自己点検・評価
<p>1)学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)</p> <p>日々の相談窓口はクラス担任が中心となり、学生の就学支援を行っている。また、専門講師による「こころ相談室」を5月より毎週金曜日の午後開設している。家計急変等の経済的な相談窓口として奨学金担当者が奨学金の紹介や学費の分割の相談を受けている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和2年度の「こころ相談室」を1名が利用。精神的な不安や悩みを抱えた学生が多い中、さらに利用しやすい環境や方法の検討が必要である。</p>
<p>2)公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供しているか</p> <p>日本学生支援機構奨学金については、学校案内(パンフレット)、募集要項、ホームページにて情報提供している。 入学生に対して日本学生支援機構奨学金在学採用の案内を「学費のお知らせ」に同封し、更に2年生も含め年度初めに説明会を実施している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和2年度日本学生支援機構奨学金を利用した学生の内、高校で予約(予約採用)が53名、本校入学後に採用(在学採用)が30名だった。学生や保護者に対して周知されていると考える。</p>

<p>3)中途退学防止のための対策を講じているか</p> <p>学生の性格・特性・環境などを把握するため、観察・面談を行い、必要な指導をする。担任及び教務部長は、自主・依頼退学を申し出た者に対しては、本人・保護者と面談し極力留意するよう努めている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和2年度の退学者は14名、退学率6.48%で前年度は18名、9.47%だった。さらに退学者が減少するように学生に対する指導を徹底して行きたい。</p>
<p>4)保護者との計画的な相談会・面談を行っているか</p> <p>学校と保護者との意思の疎通を図ることを目的として、毎年7月に「保護者等懇談会」を開催している。学生の保護者等を対象に、学校の方針・実績の報告、学生個人の日常行動・就学状況を説明し理解を深めてもらう。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和2年度の「保護者等懇談会」は7月26日(日)に新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から全体会を中止とし、担任による個別面談のみの開催とした。61組70名の参加があった。</p>
<p>5)卒業生への資格、検定等不合格者に対する対策を講じているか</p> <p>診療情報管理士専攻科と建築研究科において、在学中(出席率95%)に診療情報管理士、2級建築士に合格出来なかつた場合、最大2年間授業料無料で受講(聴講生)することができる。(サポート制度)また、卒業生を対象にした2級建築士模擬試験を、学科及び設計製図に分け実施している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和2年度は建築研究科修了生2名がサポート制度を利用し、1名が2級建築士に合格した。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>委員：退学する理由を聞いて、今後に生かしているか？</p> <p>学校：学生が退学する理由は、主に「進路変更」や「授業についていけない」等が多い。</p> <p>委員：学校の授業に不満がある退学者はいないのか？</p> <p>学校：ほとんどいない。</p> <p>委員：入学後に、一時退学したいと行っていた事があったが、担任の先生がしっかりと話を聞いてくれて早めに動いてくれた。(在学生の保護者)</p> <p>委員：「こころの相談室」は対面ではなく、メールで行った方が良いのではないか。 相手がわからないと敷居が高く感じるのではないか。 最近の若者は、面と向かって悩みを話すことが苦手である。</p> <p>学校：相談したい学生は、最初はメールでカウンセラーに連絡することができる。それから予約をとって対面で実施する。</p> <p>委員：現在はコロナ禍なので一番大変だと思うため、「こころの相談室」は良いと思う。 社会に出てからはもっと多くなっている。学生も定期的にストレスチェックを実施したら良いのではないか。</p> <p>委員：コロナ禍を経て、在宅勤務が中心となり、ペーパーレスとなりデータは情報共有できるようになった。但し、「働き方改革」で混乱し、上司は適正評価が難しくなった。今後はもっとOAを活用出来る人材を育成した方がいいよ。早く出世できる。</p>	

(6) 教育環境	自己点検・評価
<p>1)施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>教育上必要な施設・設備は整備されているが、実施の前年若しくは中期計画により年度末までに事業計画し、理事会・評議員会の承認を受け予算内で出来る範囲の整備を進めている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和2年度は2・3号館のGHPの更新工事、1号館4階のノートパソコン(委託訓練用)の入替、3号館の平行定規をOAデスクに切り替えを実施。</p>

<p>2)防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか</p> <p>建築設備(換気・排煙・非常照明)は1年毎、特殊建築物は3年毎の点検。消防用設備点検は年2回の実施。機械警備システムは月1回の報告を受ける。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和2年度は8月に建築設備の点検(黛建築設計事務所)。7月と12月に消防用設備点検(株北海道防災指導センター)を実施。機械警備(株)ベルックス)。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>委員：特に問題なし。</p>	

(7) 学生の受入れ募集	自己点検・評価
<p>1)学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>コロナ禍での外出自粛期間以外の全道各地で実施された会場型進学相談会、分野説明会、高校内出前授業に積極的に参加した。また高校訪問も可能な限り実施した。幅広い人に本校を知り、理解して頂くため学校の最新のお知らせ等をホームページやSNSで情報発信をした。本校独自のポスターを作成し高校訪問や郵送によって高校内で掲示して頂くようお願いした。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>進学相談会等、依頼されたものはすべて参加したがコロナ禍で開催数自体が例年と比べ減少した。オンライン開催の形式も増え対応できるようにした。高校訪問は活動自粛要請期間は訪問することができなかった。</p>
<p>2)入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか</p> <p>本校に来校される方への学校説明は随時受け付けている。コロナ禍の状況を鑑み、オンラインによる学校説明や進学相談を受付できるようホームページを構築した。また、フリーダイヤルやメールでの学校へのお問い合わせの対応は従来より継続して行っている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>オンライン(ズームソフト)を使用した個別進学相談を実施したが実績は無かった。申し込みされる側の受付のシステムが複雑なのでもっと簡単に申し込みができるようにする。</p>
<p>3)体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしているか</p> <p>高校生や保護者、および入学希望の既卒者を対象とした体験入学(オープンキャンパス)を開催している。施設見学、体験実習、入試制度、就職説明、個別相談会などを実施。遠方からも参加しやすいように地域に応じた交通費の補助を行っている。また道内各地域から無料送迎バスを運行している企画も取り入れ、実施している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>体験入学を31回開催予定であったがコロナの影響で4月から5月までの5回が中止となった。自粛解除期間に無料バス体験入学を3回新たに追加し、開催した。行政の指導を遵守し感染予防を充分に配慮した上で運営、開催した。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>委員：SNSで東京校の広告を見かけた。札幌校ではやっていないのか？</p> <p>学校：実施している。</p> <p>委員：学校紹介をオンラインで出来ないのか？</p> <p>学校：現在は、ラインで友達登録をしてもらい実施している。</p> <p>今まででは、一方通行(学校⇒高校生等)だったが、現在はお互いに共用できるようになった。</p>	

(8) 教育の内部質保証システム	自己点検・評価
1)自己点検・評価の組織があるか	<p>【点検評価】</p> <p>令和2年度の「学校関係者評価委員会」において本校のホームページの改善の意見が外部委員よりあり、令和3年度はホームページの改良改善を検討している。</p>
2)【職業実践専門課程】認定学科の基本情報は、学校のホームページで公開するとともに、最新の情報に更新しているか 「職業実践専門課程」認定学科の基本情報は学校のホームページで最新情報として公開している。	<p>【点検評価】</p> <p>医療事務学科・建築学科・建築設計デザイン科の基本情報は令和2年10月30日付けで更新している。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>学校： 認定学科の基本情報について、一部更新されていない為、至急更新したい。</p>	

(9) 財務	自己点検・評価
1)私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか 毎年5月(定例理事評議員会の前)に公認会計士による会計監査と監事による監査を実施し、監査報告書の作成と理事評議員会での監査報告をしている。	<p>【点検評価】</p> <p>令和2年度の監査は新型コロナウィルス感染症拡大の観点から、5月8日リモートにて監査を実施した。</p>
2)財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか 貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書、財産目録、監査報告書を過去3年分本校ホームページに公開している。	<p>【点検評価】</p> <p>定例理事評議員会終了後の6月に更新している。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>委員： 特に問題なし</p>	

(10) 社会貢献・地域貢献	自己点検・評価
<p>1)地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練等)の受託を積極的に実施しているか。</p> <p>中学生を対象とした次世代人材職業体験推進事業の職業体験講座の受け入れを積極的に行っている。令和2年度は新型コロナウィルスの為に減少したが、道内の中学7校、32名の参加があった。(例年は50校程)公共職業訓練に関しては、3コースの受託が決まり、CADエキスパート科①・医療事務エキスパート科・CADエキスパート科②の3コースの訓練を行った。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>中学生の職業体験講座の受け入れは、教室や担当する教員の都合で、受け入れできない場合もあるため、今後も受け入れ方法を考えいかなくてはいけない。公共職業訓練では、CADエキスパート科① 30名・医療事務エキスパート科 30名・CADエキスパート科② 24名 の3コースの訓練を行い、各コースに設定されている資格試験合格に向けての授業を行って、スキルを向上させ全員が再就職できることが目標となっている。</p>
<p>2)学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。</p> <p>札幌市委託事業の障害者活動支援事業で、施設で製造したパンやお弁当の販売を学校内で行っている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>各種検定協会等から試験会場として学校施設の貸出等の依頼を数件受けたが、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点や教職員の休日出勤の体制などから辞退した。学校施設を利用した地域貢献については今後の課題である。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>委員：特に問題なし</p>	

<p>【全体を通して】</p> <p>委員：当院では、コロナ感染者の受け入れを行っている。大学の寮で集まっていた学生が感染した。手指の消毒をしっかり行い、友人とは集まらないように指導して欲しい。</p> <p>委員：OA機器を有効に活用し生産を上げられるように指導して欲しい。</p> <p>建築業界をまだまだ遅れている。学校教育で学生の頃から目が慣れて欲しい。</p> <p>委員：施工・設計・請負・発注者・受注者に監理者がいるが、「管理」と「監理」の違いと、それぞれ何をするのか理解していない。業界にはしっかりと監理できる人が少ないし、やりたがる人もいない。監理者が出来る人材を育てて欲しい。</p> <p>委員：若い人すぐに仕事をさせることは難しい。PCに強いと仕事をお願いしやすいので教育に入れて欲しい。</p>
--